

令和2年度事業報告

社会福祉法人 太田福祉記念会

《 理 念 》

- 一、私たちは、利用者の人権を尊び、安らぎと生きがいづくりに努めます。
- 一、私たちは、地域福祉の向上を目指し、保健・医療・福祉の連携をすすめます。
- 一、私たちは、常に専門職として、愛の心と技術の向上に努めます。

理念「誓いの言葉」の実現に向けた基本的な考え方を三本の柱として集約し、取り組む方向を全事業所、全職員に示し事業を実施した。

- ①職員の育成による質の高い介護サービスの提供
- ②地域福祉からのまちづくり参画
- ③計画的財務管理による健全経営の維持

★＝新規項目

[1] 令和2年度重点事業プラン

◎経営戦術基本方針

「地域貢献事業の企画・実施」

「福島県一質の高い介護サービスを提供しよう」

1. 特色ある事業所づくりの推進（名刺製作費 603 千円）

- ・利用者に選ばれる事業所になるため、事業所ごとに組織的努力の焦点を明確にする特色づくりに着手、継続中。
- ★・会話のきっかけとなる名刺を、非正規職員を含む全職員に支給。名刺のデザインは、選抜された職員により構成された「名刺デザイン委員会」が担当した。

2. 太田福祉記念会地域貢献事業

- ・地域密着支援事業 除雪ボランティア（9年目）参加職員 11名
高齢者6世帯の除雪（熱海地区、湖南地区）
※感染症予防のため、生活困窮世帯の子どもを対象とした学習支援事業は中止。

3. きらきら人材育成事業

(1) 人材育成プランによる研修（715 千円）

- ① 新採用職員ガイダンス 受講者 12名 令和2年4月1日
- ② 新採用職員研修（3カ月間・5回）受講者 11名 令和2年9月9日～11月11日
- ③ 中核職員研修（3カ月間・6回）受講者 15名（指名研修）

令和2年11月18日～令和3年1月27日

(2) 外部専門研修等派遣（337 千円）

職種別専門研修（県内外）30 講座 延 41 名

※他にオンライン研修（動画配信等）7 講座

- ① 地域家庭教育推進ブロック会議（郡山市）1 名 令和 2 年 6 月 12 日
- ② 災害時の緊急介護研修（郡山市）2 名 令和 2 年 7 月 2 日
- ③ BPSD（認知症の行動・心理症状）を回避するための
ケアのあり方研修（郡山市）2 名 令和 2 年 9 月 16 日
- ④ 魅力ある職場づくり推進セミナー（郡山市）1 名 令和 2 年 10 月 15 日
- ⑤ 命を守る車いすプロジェクト視察研修（宮城県）6 名 令和 2 年 10 月 29 日
- ⑥ 介護・福祉施設等感染症対策研修（郡山市）3 名 令和 2 年 12 月 3 日
- ⑦ 福島県認知症介護実践者等養成研修（郡山市）1 名 令和 3 年 1 月 22 日～23 日、
26 日～28 日、2 月 18 日
- ⑧ 介護事業所職員（リーダークラス）合同研修（郡山市）1 名 令和 3 年 1 月 28 日
- ⑨ 災害派遣福祉チームリーダー養成等研修（オンライン研修）
- ⑩ 災害・リスク対策研修（オンライン研修）

[2] 本部事業

1. 法人運営の安定化

★ (1) 感染症対策

・感染防護物品の備蓄一覧表

（令和 3 年 3 月 31 日現在）

品 名	保管数量	品 名	保管数量
サージカルマスク	33,000 枚	体温計	4 個
アルコール消毒液	300 ℓ	血圧計	6 台
使い捨てビニール手袋	227,000 双	酸素飽和度測定器	6 台
使い捨てエプロン	27,000 枚	吸引器	3 台
ペーパータオル	305,000 枚	ペダル式ゴミ箱	9 個
ガーゼ	22,000 枚	フェイスガード	1,000 枚
ゴーグル	139 個	携帯型手指消毒スプレー	70 個

・感染行動経過（抜粋）

感染状況の変化にあわせ、新型コロナウイルス感染症の職員行動指針を作成したほか、感染拡大地域への往来自粛を要請するなど、事業所内へのウイルス持ち込みを徹底排除。

年 月 日	内 容
令和 2 年 1 月 8 日 2 月 26 日	感染症予防物品管理強化（サージカルマスク、アルコール消毒等）。 利用者への面会、外部講師によるクラブ活動、ボランティアの受け入れ、利用者の理美容、職員の研修会参加を当面禁止に。

年 月 日	内 容
令和2年	
4月8日	感染拡大防止対策の徹底指示文書発出。職員の福島県外移動は事前届出、帰宅後7日間の自宅待機などを指示。(7月7日解除)
4月10日	感染症対策連絡会議開催。(以降2回開催)
4月21日	テレビ電話面会サービス開始。
6月22日	両ホーム看取り介護利用者の面会体制整備、実施。
7月2日	感染防止対策ミーティング開始(常務理事、両ホーム園長、次長)
10月21日	玉川ホーム中央棟で感染者発生対応訓練実施。(以降BCP発動訓練及びゾーニング訓練を延9回実施。)
11月18日	新型コロナウイルス感染症に関する職員の行動指針を策定・周知。 (12月11日一部改正、令和3年3月16日一部改正)
12月11日	年末年始の帰省家族等への対応や、感染拡大地域への移動自粛を指示。
令和3年	
1月14日	緊急事態宣言発令地域への移動は事前届出、帰宅後7日間の自宅待機などを指示。(3月22日解除)
2月8日	南会津郡内高齢者施設へ支援職員2名を派遣。
3月5日	職員1名が家族から感染、入院。4日から全職員に3回/日の体温測定記録を指示。利用者及び職員191名のPCR検査を順次実施し全員陰性を確認。
3月22日	感染拡大地域(人口10万人あたりの週陽性者数が15人以上の都道府県)への移動は事前届出。

(2) 経費節減

- ① 競争入札による実績 32.6%節減 金額 22,960 千円
(目標：予算計上額の3%減 金額▲1,022 千円)
- ② 事業消耗品等購入費の節減 ▲13.3% ▲3,028 千円
- ③ 全施設電力消費量 前年度比 +4.6% ▲333 千円
※東日本大震災発生前の平成22年度比▲18.7%、発生後の平成23年度比▲11.6%
- ④ 全施設水道消費量 前年度比 ▲0.5% +85 千円
※平成28年度と比較し、令和元年度▲10.8%、令和2年度▲11.3% (▲4,606 m³)

(3) 公的助成制度の活用

- ・福島県や郡山市等の助成制度による積極的な補助金、交付金の導入

[福島県] 地域医療介護総合確保基金事業補助金 450 千円

新型コロナ感染症緊急包括支援交付金 30,349 千円(マスク消毒液等対策費用助成 16,599 千円、飛沫感染防止パネル等環境整備助成 1,800 千円、介護施設職員慰労金 239 名分 11,950 千円)

[郡山市] ケアハウス事務費補助金 23,000 千円

結核予防事業費補助金 338 千円

社会福祉施設整備資金借入金利子補助金利子補給金 120 千円

介護保険の特別対策に係る社会福祉法人等利用料減免助成金 28 千円

新型コロナサービス継続支援事業補助金 877 千円

[独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構] 障害者雇用調整金 270 千円

★ (4) 生産性向上

- ・国が推奨する電子申請システムのひとつ **gBizID** を活用し、労務関係の申請や届け出等の行政手続きをインターネットで行い、人件費や切手代を節減。
- ・利用者との契約書を3部構成から2部構成に改変し、署名押印数を減らすことなどで契約事務の省力化を図った。

(5) 中・長期経営計画の研究・策定

- ・10年先を見据えた経営計画の研究、策定作業に着手、継続中。

2. 有能人材の確保・育成

○募集広報担当職員（介護職員）の育成と人材の発掘、採用

正規職員採用内定者8名（看護師2名、介護員2名、調理員3名、
介護支援専門員1名）

①募集行事等

- ・教育機関個別訪問（2校）
- ・福祉の職場WEB説明会説明会参加（1回）
- ・介護労働安定センター実務者研修修了者就職説明会参加（1回）

②募集広報

- ・正職員採用試験計画どおり実施（3回） ・ハローワーク ・ホームページ掲載
- ・求人広告掲載3件（広告料749千円） ・職員へ人材紹介の協力要請

③離職率

介護職（正職員）の離職率2.65%（前年度0.92%） ※全国平均15.4%

[3] 特別養護老人ホーム

1. 利用者に質の高い介護サービスを提供

★ (1) 特別感染症対策事業（共通）

- ・新型コロナウイルス感染症防止研修会
玉川ホーム 5回 延222名 あたみホーム 4回 延80名
- ・緊急時介護サービス復旧計画の発動を想定した訓練
玉川ホーム 1回 12名 あたみホーム 1回 11名
- ・施設内ゾーニングシミュレーション
玉川ホーム 3回（※）延49名 あたみホーム 5回 延48名
※うち1回は森松暁史様（太田熱海病院感染対策委員長）を講師に招聘して開催。
- ・太田熱海病院との感染防止会議 3回
- ・新規入所時のPCR検査実施 玉川ホーム 7名 あたみホーム 2名
- ・テレビ電話による面会 玉川ホーム 延404回 あたみホーム 延174回

- ・新型コロナ特例介護報酬の上乗せ（ショートステイ緊急短期入所受入加算）
玉川ホーム 延 284 名 加算額合計 1,419 千円
あたまホーム 延 296 名 加算額合計 1,374 千円
- ・南会津郡内の高齢者施設へ応援職員を派遣
玉川ホーム 1 名（5 日間派遣） あたまホーム 1 名（7 日間派遣）

(2) 食事の経口摂取維持への支援（共通）

- ・太田熱海病院へ嚥下評価パス入院
玉川ホーム 日帰り 4 名、入院（1 泊 2 日）1 名
- ・経口維持加算算定
玉川ホーム 41.7 名/月（目標 40 名/月）加算額合計 2,000 千円
あたまホーム 57.1 名/月（目標 50 名/月）加算額合計 2,744 千円

(3) 看取り介護の実施人数（共通）

玉川ホーム 17 名 加算額合計 804 千円
あたまホーム 1 名 加算額合計 29 千円

★(4) 褥瘡の発生予防と早期対応（共通）

- ・褥瘡管理に関するケア計画作成人数 玉川ホーム 1 名 あたまホーム 9 名
- ・褥瘡ケアマネジメント加算算定
玉川ホーム 延 651 名 加算額合計 65 千円
あたまホーム 延 380 名 加算額合計 38 千円

(5) ショートステイ個別機能回復訓練の充実（あたまホーム）

- ・個別機能訓練加算算定 26.2 名/月（目標 20 名/月）加算額合計 1,061 千円

★(6) 車載用車いすの運用研究（共通・3,888 千円）

- ・命を守る車いすプロジェクト会議
機種調査、選定のため 6 回開催 視察研修 6 名派遣
- ・24 台を導入 適正使用マニュアル作成及び講習を実施。

(7) 身体拘束廃止への取り組み（共通）

- ・身体拘束廃止人数 玉川ホーム 17 名中 8 名 あたまホーム 8 名中 3 名

2. 健全な財務体制の確保と業務効率化の推進

事業所名	長期入所者数（稼働率） ※下段は 2 年度計画値	短期入所者数（稼働率） ※下段は 2 年度計画値	介護	
			介護	介護予防
玉川ホーム	166.3 名/日 (97.8%)	18.4 名/日 (92.0%)	18.4 名/日	0.0 名/日
【定員 長期 170 名 短期 20 名】	163.5 名/日 (96.1%)	17.0 名/日 (85.0%)	16.9 名/日	0.1 名/日
あたまホーム	97.9 名/日 (97.9%)	18.1 名/日 (86.1%)	17.6 名/日	0.5 名/日
【定員 長期 100 名 短期 21 名】	96.5 名/日 (96.5%)	17.0 名/日 (80.9%)	16.6 名/日	0.4 名/日

(1) 稼働率の向上（共通）

- ・玉川、あたみ両ホーム合同入所検討委員会 4 回
- ・ベッド空床期間平均日数

玉川ホーム 2.0 日（前年度 5.0 日） あたみホーム 3.5 日（前年度 6.3 日）

★ (2) IT 機器を活用した業務の効率化（あたみホーム）

- ・生活支援システム活用推進会議 9 回開催 入力指導リーダー 2 名を配置し、ケース記録の電子化により職種間の情報共有と作業効率化を推進。

★ (3) 介護支援ロボット導入の実証研究（共通）

- ・介護員の腰部に装着するタイプの介護ロボットを借り受け実証研究を実施。

3. 職員の育成

(1) 新採用職員教育の充実（共通）

- ・がんばっぺ職場研修の実施

プリセプター配置 玉川ホーム 2 名 12 カ月 対象職員 1 名

あたみホーム 2 名 12 カ月 対象職員 2 名

(2) 福島県喀痰吸引等実地研修（共通）

- ・介護職員による痰の吸引等のための研修事業を実施。

あたみホーム 3 名（令和 2 年 12 月 20 日～令和 3 年 3 月 21 日）

[4] ケアハウス

1. 健全な財務体制の確保と稼働率の向上

事業所名	入居者数（稼働率） ※下段は 2 年度計画値	1 人部屋	2 人部屋
		グリーンライフ小磯 【定員 30 名】	23.4 名/日（76.6%） 28.0 名/日（93.3%）

(1) 新規入居者の確保及び施設の PR

- ・新規入所者数 4 名、退居者数 6 名（前年度新規入居者数 6 名、退居者数 8 名）
- ・近隣市町村地域包括支援センター訪問 PR 活動 4 カ所実施

(2) 介護予防の推進

- ・運動器訓練等を行う元気クラブ 年 197 回 延 2,561 名（1 回あたり平均 13 名）
- ・入居者の希望を取り入れた行事やグループ活動の実施
ショッピング 2 回 延 11 名 外食 2 回 延 19 名

- ★ 移動スーパーの来所を実現、果物や日用品等購入機会を提供
移動販売車来所 35 回

2. 入居者の生活環境改善

★ (1) 感染防止対策

・新型コロナウイルス感染症防止研修会 2回 延 16名

・施設内ゾーニングシミュレーション 1回 6名

※このほか、あたまホームで開催されたシミュレーションに職員延 8名参加

(2) サービス担当者会議 計画どおり開催 25回 (入居者1人あたり1回)

[5] 在宅の介護・支援サービス

I. デイサービス

1. 利用者の自立を支援する質の高い介護サービスを提供

★ (1) 特別感染症対策事業 (共通)

・新型コロナウイルス感染症防止研修会

太田デイサービス 3回 延 24名

太田玉川デイサービス 3回 延 28名

太田小磯デイサービス 2回 延 13名

・緊急時介護サービス復旧計画の発動を想定した訓練

太田玉川デイサービス 玉川・あたま両ホームの訓練に各 1名参加

・新型コロナ特例介護報酬の上乗せ (上位の報酬区分を算定)

太田デイサービス 45.6名/月 加算額合計 697千円

太田玉川デイサービス 48.6名/月 加算額合計 1,321千円

太田小磯デイサービス 35.0名/月 加算額合計 992千円

(2) 自立支援を意識した取り組み (太田デイサービス)

・朝食提供による生活支援 実利用者 11名 延 1,238食

★ ・骨折予防のための太極拳体操 282日実施 延 5,692名参加

★ ・家族のレスパイトケアを目的とした利用回数の増

1週あたり1回増 7名 1週あたり2回増 1名

(3) 自立支援と認知症進行防止の取り組み (太田玉川デイサービス)

・取り組みをとおして ADL の状態の維持、向上が見られた利用者

72名中 39名 (維持 35名・向上 4名)

脳の活性化を目的とした活動	生活機能維持向上を目指した機能回復訓練
貼り絵の制作 72回	上下肢及び口腔体操 (集団) 259回
季節の飾り作り 54回	レクリエーション活動 238回
クイズ、塗り絵、計算ドリル等 135回	要支援者の機能回復訓練 延 1,172名

(4) 自立支援と認知症進行防止の取り組み（太田小磯デイサービス）

- ・握力強化やボールを使った下肢運動等の個別機能回復訓練

241回 実利用者 45名

- ・音楽レクリエーション活動（歌う・笑う・考える）による認知機能の低下防止

259回 実利用者 45名

2. 健全な財務体制の確保

事業所名	営業日数	利用者数	※下段は2年度計画値			実利用者数	
			介護	総合事業	認知症		うち新規
太田デイサービスセンター 【定員30名】	310日	21.6名/日 23.5名/日	17.5名/日 19.3名/日	4.1名/日 4.2名/日	-	85名	16名
太田玉川デイサービスセンター 【定員37名】	259日	23.3名/日 25.5名/日	14.0名/日 16.6名/日	4.5名/日 2.8名/日	4.8名/日 6.1名/日	88名	21名
太田小磯デイサービスセンター 【定員18名】	259日	15.5名/日 16.3名/日	12.1名/日 13.9名/日	3.4名/日 2.4名/日	-	63名	11名

II. ホームヘルプサービス

健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数	※下段は2年度計画値				実利用者数	
		熱海		小磯分室			うち新規
		介護	総合事業	介護	総合事業		
太田訪問介護事業所	11.1名/日 14.0名/日	6.8名/日 9.6名/日	4.0名/日 4.4名/日	0.2名/日 0名/日	0.1名/日 0名/日	41名	15名

III. 居宅介護支援サービス

質の高いケアプラン作成と収支バランスのとれた財務体制の維持

(1) 質の高いケアプランの作成

- ・退院調整によるサービス計画作成 46件（前年度31件）

(2) 健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数
太田指定居宅介護支援事業所	146.7名/月（目標150名/月）

- 退院退所加算 37 件 加算額合計 165 千円（前年度 25 件）
- 入院時情報連携加算 79 件 加算額合計 149 千円（前年度 81 件）
- ターミナルケアマネジメント加算 1 件 加算額合計 4 千円（前年度 1 件）
- 小規模多機能型連携加算 1 件 加算額合計 3 千円（前年度 1 件）
- 市町村等から依頼された介護認定調査 3 件 委託料合計 11 千円（前年度 33 件）

IV. 地域包括支援サービス及び介護予防支援サービス

健全な財務体制の確保

事業所名	利用者数
湖南地区地域包括支援センター （湖南地区介護予防支援事業所）	84 名/月 （目標 90 名/月）

- 郡山市からの住宅改修理由書作成依頼 1 件 委託料合計 2 千円（前年度 1 件）

※感染症予防のため、地域住民又は地域の福祉関係者と開催を予定していた、地域ケア会議、介護予防教室、認知症サポーター養成講座、「おいそカフェ まざっせ」を中止。